

Ⅱ 鹿児島に稼げる仕事をつくる。

2. コロナ後に対応できる、新しい産業・仕事をつくる。

【No.6】 中小企業振興を推進します。

地域の雇用の重要な受け皿である中小企業について、人材の育成・確保、資金供給の円滑化、新分野への進出支援、事業承継の支援など、総合的に振興策を行います。

【No.7】 中小企業振興基本条例を制定します。

地域経済における中小企業の重要性や、今後行うべき包括的な中小企業振興施策の位置付けを明確にするため、中小企業振興基本条例（仮称）を制定します。

【No.8】 積極的な起業支援

起業に必要なことを学ぶセミナーの拡充、手続の簡略化、制度融資の充実、大学等研究機関との連携強化ならびに紹介など、起業支援を推進します。

【No.9】 戦略的な企業誘致に取り組みます。

立地企業側のニーズと鹿児島市の強み・特徴を分析したうえで、民間の知見・つながりを生かした戦略的な企業誘致・留置に取り組みます。

【No.10】 生産性を上げて、賃金を増やします。

サービス業を中心に、ICT 等を活用した生産性向上の取り組みを支援するとともに、先進事例を市内全域に普及する取り組みを進めます。

【No.11】 出身者は鹿児島市の宝！連携強化を進めます。

市外在住の鹿児島市出身者との連携を強化し、周囲の方々に特産品や観光の PR を行って頂ける取り組みを進めます。

【No.12】 スマート農業を強力的に推進します。

「稼げる農業」実現のため、最先端の ICT を活用した「スマート農業」を強力的に推進します。

【No.13】「稼げる農業」実現へ、農地の有効活用を進めます。

「稼げる農業」実現へ向け耕作放棄地化を防ぐとともに、農地の有効活用を進めます。

【No.14】「稼げる林業」づくりに取り組みます。

木材がより高く売れ、木材関連産業従事者の所得が増える様、高付加価値化や輸出に必要な環境整備に取り組みます。シイタケ、タケノコなどの特用林産物の生産拡大、竹の活用にも力を入れ、「稼げる林業」の実現に向け取り組みます。

【No.15】「稼げる水産業」づくりに取り組みます。

体験型も含めた観光化の取り組みや、鹿児島県の魚の魅力を漁業者から直接伝えることのできる機会づくりなど、魚食の普及も含め、稼げる水産業づくりを進めます。

【No.16】鳥獣被害対策を進めます。

シカやイノシシなどの鳥獣被害を軽減するための取り組みを進めます。またジビエ料理普及の取り組みを支援します。

3. 世界から観光客を集める・国際都市 KAGOSHIMA をつくる。

【No.17】クルーズ船の経済効果を高めます。

クルーズ船で鹿児島を訪れる観光客が、鹿児島の食や伝統工芸など魅力を体感し、もっと地元への経済効果を高める環境整備を行います。

【No.18】市民総ぐるみで国体・全国障害者スポーツ大会を盛り上げます。

2023年の国体・全国障害者スポーツ大会を、市民みんなで盛り上げるため取り組みます。

【No.19】障害のある人も、ない人も、安心して周遊できる「ユニバーサルツーリズム」先進県をつくります。

2023年の全国障害者スポーツ大会を良い契機として、障害のある人も、ない人も、安心して周遊できる「ユニバーサルツーリズム」先進地をつくります。

【No.20】ネットを活用した、多言語対応の観光誘客

多言語対応の観光マップ、アプリ等を整備することで、より多くの国・言語の観光客が安心して周遊できる環境を整備します。

【No.21】鹿児島市在住経験外国人のネットワークを構築します。

鹿児島市在住後帰国した外国人の方々と、継続したネットワークを構築します。

【No.22】インバウンド対応の人材育成

海外からの観光客誘客に対応できる人材育成を進めます。

【No.23】国際会議・各種大会の誘致を進めます。

国際会議や各種大会（全国大会など）の誘致へ向け、補助金の創設、誘致に向けた立候補の支援など、積極的な支援を行います。

【No.24】イスラム教徒向け「ハラール」など、各地域に合った誘客を推進します。

イスラム市場向けの「ハラール」対応など、各国・地域の特徴・ニーズに合わせた形での誘客を推進します。

【No.25】体験型観光を進めます。

農業体験や農家民泊（グリーンツーリズム）、漁業体験（ブルーツーリズム）など体験型観光、修学旅行の誘致に向けた環境整備を行います。

【No.26】伝統的工芸品振興

大島紬、薩摩焼などの伝統的工芸品について、その魅力に触れ、物語を知るための機会を増やします。また市民向けに、実際に触れる機会、そして背景にある由来などの物語を知る機会を増やし、まずは自分たちが魅力を知る取り組みを支援します。

【No.27】鹿児島市を舞台としたコンテンツの制作振興

鹿児島市を舞台としたコンテンツ（映画、アニメ、マンガ、ゲームなど）をより多く作って頂くため、全面的に取り組みを行います。

【No.28】観光資源となる「稼げる」スタジアム整備

世界に「KAGOSHIMA」の名前をPRし、観光都市としての観光資源となり、複合的な施設として「稼げる」スタジアム整備へ取り組みを進めます。

【No.29】プロスポーツ等のホームゲームの盛り上がりをつくります。

市の施設を利用したホームゲーム等の際には、より盛り上がるができる様、施設や敷地の使用について柔軟に認めるようにします。また試合がない時でもホームとして雰囲気づくりを進めるための取り組みを柔軟に行えるようにします。

【No.30】スポーツ合宿の誘致

民間事業者や教育研究機関等と連携し、食生活指導や科学的トレーニング指導といった魅力もPRし、プロ、実業団チームや学生の部活などスポーツ合宿の誘致を推進します。

【No.31】市電延伸の検討を進めます。

市電の観光路線延伸については、県と連携を図りながら、早期に最適なルートを選定し、試算内容を市民や市議会に対し明らかにします。

【No.32】磯新駅の整備

なるべく交通渋滞への影響を避ける形で、磯新駅の整備に向けて検討を進めます。

【No.33】水上交通の整備を検討します。

海を活かしたまちづくりや観光地としての周遊性を向上させるため、鹿児島港内・鹿児島湾内における旅客水上交通の整備・誘致を検討します。

【No.34】リバーサイドの整備

川沿いに市民の憩いの場を整備します。

【No.35】eSportsの振興

市民にとっての楽しみの場の創出ならびに観光誘客の観点から、eSportsの振興に努めます。

4. ICTを活用しもっと住みよい鹿児島をつくる。

【No.36】 ICT 関連産業振興に取り組みます。

ICT 産業を鹿児島市の基幹産業に育てるべく、AI、Iot、スマート農業関連技術等の技術者育成、雇用の受け皿となる企業、個人事業主の誘致、市発注の ICT 関連調達、地元発注など、総合的に取り組みを進めます。

【No.37】 新たな技術を、政策に積極的に取り入れます。(DX の推進)

電子手続の整備による利便性向上、地域交通への ICT 活用による地域の足確保、スマホを活用した保健指導など、新たな ICT を積極的に政策に取り入れ、市民生活の向上のために活用します。そして DX (デジタルトランスフォーメーション) の担当部署を創設するとともに、DX の取り組みを強力に推進します。

【No.38】 行政手続のデジタル化を進めます。

さまざまな手続に ICT を活用し、市民の利便性を向上させるとともに、行政運営の効率化を進めます。

【No.39】 テレワークを行う企業の誘致に取り組みます。

テレワークに取り組む企業を鹿児島市に誘致できるよう、積極的に環境整備と誘致活動を行います。